

デジタルへの対応

デジタルトランスフォーメーションを成功
させるための意思決定者向けガイド



ready ✓

verizon ✓

デジタルトランスフォーメーションは「ビジネスの顔」 を変えつつあります。 貴社のネットワークはデジタルに対応していますか？

すべての企業は、自社のビジネスモデルがデジタル時代に適していることを保証することの重要性を認識しています。しかし、デジタルトランスフォーメーションが競争上の優位性を構築するために必要不可欠であるという認識は広まっているものの、その実現を阻む困難な障壁が存在することも判明しています。また、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトは、迅速な実装が難しいだけでなく、勢いを失う可能性や、それが本来実現すべき価値の提供に至らない可能性もあります。

ビジネスは継続的なデジタルトランスフォーメーションを要求しています。

今になって見ると、これまでのビジネス変革の概念は比較的単純であり、それは物事をより効率的にかつコスト効率良く実行する方法を見つけることでした。今もお企業のあるゆる部分においてコストがなおも大きな要因となっているため、この概念は現在でも通用しますが、今日のデジタルトランスフォーメーションプロジェクトは、それ以外にも、より多くのことを意味しています。

デジタルトランスフォーメーションは、厳しい市場で競争力を産み出し、顧客エクスペリエンスのパーソナライズ、従業員同士の接続、堅牢なグローバルセキュリティの維持を可能にし、いかなるビジネスニーズに対しても瞬時に適応することを目指しています。それは継続的なプロセスです。

IDCの調査レポート『Digital Transformation: Discover the Right Path to Avoid Hype and Disappointment』では、デジタル戦略の異なる段階に位置している企業、219名の上級意思決定者の意見を調査しています。自らをデジタルリーダーであると見なしているこれらの人々でさえ、自社のデジタル戦略を迅速に実装することは困難であると考えています。現実には、いかなる企業も自社のデジタルトランスフォーメーションが完全に実施されたとは考えていないため、変化に対して迅速に適応し新しいテクノロジーを導入できるようなインフラストラクチャを構築することが、企業にとって不可欠となっています。

IDCでは、早ければ2019年には、成熟したデジタルトランスフォーメーション企業が、自社の収益の少なくとも45%をデジタル関連の商業活動から引き出すであろうと予測しています¹。また、2020年までに自社の収益の少なくとも25%をデジタルトランスフォーメーション関連のプロジェクトにより実現していない企業は、俊敏な競合他社により淘汰されるリスクがあります²。これは特に、貴社と貴社組織のデジタルトランスフォーメーションプロジェクトの間になお大きな障壁が存在している場合には、今後のタスクに緊急性があることを示しています。

貴社に関する主な質問

 デジタル化は機会を提供しますが、それによりさらに脅威も増えることになります。貴社では、適切なセキュリティを配備していることをどのように保証しますか？

 イノベーションは最優先事項です。貴社のネットワークでは、優れた顧客エクスペリエンスを提供するために、新しいサービス、機能、アプリケーションの迅速な配備を行えますか？

 スkillに関する要件は日々変化しています。貴社では、ネットワーク変革戦略やデジタルトランスフォーメーションの次なるステップの実装と実行に必要となる、適切な知識を持つ適切な人員を確保していますか？

 クラウド、ソーシャルメディア、モバイルコンピューティング、ビッグデータによる業務イノベーションの推進などを通じて、貴社のネットワークは迅速なスケーリングが行えますか？



の収益が2020年までにデジタルトランスフォーメーションによりもたらされる必要があります。それを達成できない企業は、俊敏な競合他社により淘汰されるリスクがあります³

誰かの生活を危険
にさらさないように
するために、我々は
非常に信頼できるネ
ットワークを必要と
しています。

Nilesh Mhatre
CIO、南北アメリカ地区
Schindler Elevator Corporation

ready✓

デジタルトランスフォーメーションとネットワークの役割。



のデジタルリーダーが、ネットワーク機能はデジタルトランスフォーメーションプロジェクトを支えていると考えています⁶



のデジタルリーダーが、が問題に直面した場合に利用している通信サービスプロバイダー (CSP) が確実にサポートできていると考えています⁹

現在の環境では、ネットワーク戦略をデジタル戦略と調和させるニーズが増大することはありませんでした。しかし、企業が移行の高速化、より大規模なスケーリング、よりスマートなイノベーションを目指す場合、ネットワークの変革なしには、これらのどれも達成できません。

IDCの調査によれば、2018年には70%のデジタルリーダーが、ネットワーク機能はデジタルトランスフォーメーションプロジェクトを支えていると回答しています⁴。この数字は2016年から2018年の間で20%近くも上昇しており⁵、これは企業にとってのデジタルトランスフォーメーションの重要性が増大したこと、およびネットワーク戦略は大企業の戦略から分離できないという認識がビジネスリーダー間で広まったことを示しています。ネットワークリーダーは、次世代のデジタルソリューションへの支出を増やしており、効果的なデジタルトランスフォーメーションプロセスにとって必須となるまったく新しいネットワークテクノロジーへの投資を優先するようになっていきます。

ネットワーク変革に成功するかどうかはパートナーシップによって決まります。

ネットワークは、この変革のバックボーンとなるものです。デジタルトランスフォーメーションに成功する組織や企業のリーダーは、自社のデジタルトランスフォーメーションとネットワーク変革を調和させているほか、エンタープライズクラスの通信サービスプロバイダー (CSP) から専門的なサポートを得ることの価値を十分に理解しています。

これは、83%のデジタルリーダーが、問題に直面した場合に利用しているCSPが確実にサポートできると回答している事実からも実証されています⁷。これらのリーダーは、ビジネス全体の成功に影響するIT関連の意思決定を行う場合にパートナーの洞察を得ることのメリットを理解しています。

しかしこれは、大多数のデジタルトランスフォーメーションに精通していない人々によって共有されているものではありません。利用しているCSPがデジタルトランスフォーメーションプロジェクトを確実に実現できると考えていると回答したデジタルフォロワーは、全体の47%に過ぎません⁸。

このメッセージは明確です。すなわち、「強固なパートナーシップと信頼できるアドバイザーによる適切なサポートは、デジタル対応にするために役立つ」そして「それらは、デジタルトランスフォーメーションを阻む障壁の克服を、自社単独で行うよりも迅速に行うために役立つ」といことです。この結果、効率性の改善や顧客エクスペリエンスの向上のようなメリットをより迅速に実現できるようになります。

優れたネットワークが使えない場合、我々は、ビジネスにおいて競争力を持つことができません。

Roger Penske
会長兼CEO
Penske Corp.

ready✓

デジタルトランスフォーメーションを阻む障壁を理解する。

適切なパートナーと契約することは、デジタル対応にするために役立ちます。

IDCの調査によれば、デジタル戦略の実行を阻む障壁のトップ4は次の通りです。



セキュリティ

脅威の増大や、ソフトウェア定義ネットワーク（SDN）やネットワーク機能仮想化（NFV）などの複雑な技術の増加により、セキュリティに関する懸念が高まっています。



コスト

コストに加えて、ROIを明示できないことも懸念となっています。適切なパートナーがいない状態では、デジタルトランスフォーメーションを実施し、ビジネスを効率的および効果的に主導することは困難となります。



複雑性

テクノロジーが本来持つ複雑さにより、企業や組織は、デジタル戦略を最も良くサポートするデジタルトランスフォーメーション対応テクノロジーを特定し評価することが難しいと感じています。



不確実性

デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを推進するために適切なテクノロジーとソリューションを特定することに関しては、不確実性が存在します。

未来の脅威に対する準備を整える。

デジタルリーダーは、セキュリティが、デジタルトランスフォーメーション戦略の実現を阻む最も大きな障壁であると見なしています。現代的な企業のインフラストラクチャは複雑であり、ますます多くの業務がベアメタルのオンプレミス環境から仮想化およびクラウド環境へと移行しています。変化し続ける市場や顧客の要件に対してより断固たる態度で対応するというニーズや、現代的なワークスペースやますますグローバル化するビジネス環境に適用するというニーズが、このような変革の原動力となります。

このような新しいインフラストラクチャモデルへの移行によりもたらされるものは、豊富な機会だけではありません。脅威もまた増大します。このため、企業や組織は、重要なデータをセキュアに維持し、DDoS攻撃に対する防御を行い、業務停止を引き起こすダウンタイムを回避する必要があります。これは「終わりのない戦い」であるかのようです。

実際、この戦いには文字通り終わりはありません。現時点でIT環境において何事かを信頼していたとしても、明日になると重大度や数で今日のそれらを上回るような脅威が出現する可能性があります。また、よりオープンなプラットフォームを利用しており、アプリケーションやデバイスの数も増大しており、しかもIoTや分析を可能にするためにあらゆる場所のあらゆるものをネットワークに接続できるようにするためには、手動プロセスを利用することでは、巧妙な脅威を軽減することは不可能となるでしょう。

テクノロジーを理解する。

テクノロジーが本来持つ複雑さと、SDNやNFVのような次世代テクノロジーの実装方法の不確実さは、デジタルリーダーにとって最大の懸念となっています。ビジネスをサポートするために適切な高密度ネットワーク技術を見つけることは、ソリューションを選択し、それをデフォルト設定で実装するように、簡単ではありません。実装を成功させるためには、組織全体を通じた変更が必要となります。このためには、サイロを解体する必要があるほか、企業は社内接続を行うための新しい方法を見つける必要があります。

まさにこの理由により、デジタルトランスフォーメーションプロジェクト全体を通じて自社をガイドし、ビジネスニーズ向けにカスタマイズされたテクノロジーエコシステムを実現してくれるようなパートナーが提供する経験と知識を利用する必要があります。

必要としているスキルとサポートを特定すること。

また、同じくデジタルリーダーにとっての差し迫った懸念として、デジタル対応にするための社内リソースを保有しているかどうかという問題が挙げられます。インフラストラクチャが一年後にどのように変化しているかも分からないというのに、どのようなスキルを必要とするようになるかをいかにして予測できるのでしょうか？また、どうすれば顧客は貴社のブランドとの対話を望むようになるのでしょうか？チームに何を要求するのでしょうか？現在のパートナーが適切なサービスに投資しているかどうか、および適切なアドバイスを提供しているかどうかを、どうやって知ることができるのでしょうか？

サプライヤーの状況は複雑です。おそらくインフラストラクチャやセキュリティの個別の部分に関して取引をする多数のパートナーをお持ちのはずです。これは、環境全体に関する可視性を維持し、その環境がどのように動作するかを理解し、その環境が企業の必要とするものを提供するかどうかを確認することが、あなたの仕事であることを意味しています。

ネットワークを自信を持って保護する。

経験を積んだCSPと協働することは、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトの実行を阻む障壁を克服するのに役立ちます。IDCの調査によれば、46%のデジタルリーダーが、CSPを、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを推進する第一の信頼できるパートナーであると見なしています。

これは、シニアレベルの意思決定者が、ネットワーク変革がデジタルトランスフォーメーションにとって不可欠であることを理解していることを示しています。また、仮想化やクラウドを通じて安全な経路を交渉することにより変革力のあるセキュアな接続ソリューションを提供するためには、最も鋭敏なビジネスリーダープロセスよりもさらに多くの専門知識が必要となることを理解しています。数10年にわたってネットワークやセキュリティの専門知識を蓄積している信頼できるパートナーは、非常に貴重な存在です。

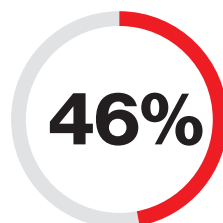
セキュリティが大きな懸念の1つである場合、信頼できるパートナーと協力してSDネットワークを構築することは、貴社にとっての優先事項となります。SDNを使用すると、ネットワークの管理の簡素化、中央での一元化、自動化を行うことや、アクセス制御を強化し脅威に関する可視性を向上させることが可能となるため、セキュリティを強化できます。



の先進のデジタルトランスフォーメーション組織は、ネットワーク機能も先進のものを備えています¹¹



の企業が、SDNはネットワークの設計、配備、管理、スケーリングの迅速化と簡素化に役立つと回答しています¹²



のデジタルリーダーが、通信サービスプロバイダー(CSP)を、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを推進する第一の信頼できるパートナーであると見なしています¹³



のFortune 1,000企業が、ベライゾンのサービスとテクノロジーを信頼しています

あらゆる物事に対応できること。

デジタルトランスフォーメーションプロジェクトにおいてビジネスをサポートするためには、ネットワークは適応可能型であり、かつ継続的に変革可能でなければなりません。専門知識を確保し適切なソリューションを実装することは、デジタルトランスフォーメーションの進捗を遅らせ、期待される結果の達成を阻む変革上の課題を克服するために役立ちます。

デジタルトランスフォーメーションを阻む障壁	変革上の障壁を克服するには	関連する製品とソリューション
セキュリティ	新しい環境が適切に保護されており、最悪の事態にも対応していることを知ることで、デジタルトランスフォーメーション戦略を、自信を持って実行できるようになります。	
	サイバーリスクがどこにあるか、そしてどの分野に投資を集中すべきかについて評価を行い、それらを把握できるようにします。	ベライゾンリスクレポート
	高度に暗号化された接続を通じて、デバイスやアプリケーションを保護します。	ソフトウェア定義型境界
	高度な脅威の監視、分析、検知を通じて、環境をプロアクティブに防御します。	マネージドセキュリティサービス
	インシデント対応計画を立案することで、サイバー攻撃された場合にどのように対応すべきかを正確に知ることができます。	インシデント対応
コスト	物理ネットワークをソフトウェアアプリケーションへと統合することで、設備投資の制御やオーバーヘッドの管理を行い、所有コストを削減します。	
	不要なものに対して支払うことを止め、既存のネットワークをより効率的に利用します。	マネージドSD WAN
	ビジネスに成果をもたらす変革を推進するような、適切なデジタルテクノロジーに投資します。	ネットワーキングプロフェッショナルサービス
	高価なハードウェア配備を削減または廃止し、既存のネットワークを再構成することなくシステム運用を続行します。	仮想ネットワークサービス
不確実性	経験を積んだパートナーの支援を仰ぐことで、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを推進するために適切なテクノロジーとソリューションを特定します。	
	ネットワーク最適化、拡張、統合戦略を、デジタルビジネス目標と調和させます。	ネットワーキングプロフェッショナルサービス
	最高のパフォーマンスでネットワークの稼働を維持するために必要となる日常的なタスクをアウトソーシングします。	マネージドネットワークワサービス
	セキュリティ設計をデジタルトランスフォーメーションプロジェクトの中心に据えることで、堅牢かつ効果的で柔軟なセキュリティアーキテクチャを設計します。	セキュリティ戦略および実装セキュリティプロフェッショナルサービス
複雑性	完全なマネージド型の自動化されたネットワーキングソリューションを実装することで、運用を簡素化しパフォーマンスを向上させます。	
	ネットワークに対する、より俊敏で回復力のある、中央で一元管理されるタイプのアプローチを作成します。	仮想ネットワークサービス
	トラフィックの優先順位付けを行い、WAN全体でアプリケーションの配信とパフォーマンスを高速化します。	マネージドWAN最適化サービス マネージドSD WAN
	SIEM投資を最大化し、重要な脅威を迅速に特定できるようにします。	高度なセキュリティオペレーションセンター

課題の克服

世界的な大企業は、ベライゾンのソリューションを利用することで、いかにビジネスを変革しているか。

デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを推進するために必要となるパフォーマンスと信頼性を企業に提供するには、ワールドクラスの仮想化ネットワークインフラストラクチャおよびサイバーセキュリティのポートフォリオが不可欠です。また、経験を積んだプロバイダーからのサポートも必要となります。プロバイダーは、クラウド上でホ스팅される多様なテクノロジーやアプリケーションへのアクセスを、将来のビジネスの要求を満たすレベルのセキュリティと共に提供する必要があります。

デジタルリーダーによれば、CSPを評価する際に注目する属性のトップ4は、次の機能や能力を備えているかどうかになります。

- 実績あるSDNの実装
 - SDオフリングに関する多様なポートフォリオ (SD WANや仮想化サービスなど)
 - デジタルプラットフォームへの移行を支援するためのプロフェッショナルサービス
 - グローバルなカバレッジ
- 次の成功事例では、当社ベライゾンのサポートによりどのようにデジタルトランスフォーメーションに成功したかを知ることができます。

ベライゾンは、複雑な配備環境の管理における25年の経験を顧客に提供することで、将来を見据えたネットワーキングとセキュリティを実現します。

jetBlue®

信頼できるネットワークのバックボーンにより優れた顧客エクスペリエンスをサポート。

2001年に設立された米国の航空会社であるJetBlueでは、急速に変化する業界で競争力を維持するために俊敏であることを必要としていました。同社の技術は、顧客サービス業務、WebサイトJetBlue.com、発券サービス、最先端のWi-Fi、およびフライト中のエンターテインメント提供技術をサポートしています。これらはすべて、安定したネットワークを必要とするクリティカルな業務です。

同社では、1日あたり3ヶ国を通じた100ヶ所以上の目的地へのフライト1000便を運航しており、イノベーションの精神を共有するような組織と協働することを望んでいました。また、セキュリティを維持し、信頼できるサポートを24時間365日体制で提供できるパートナーを探していました。

現在、JetBlueはベライゾンと提携することで、幅広い種類のサービスを提供しています。これには、マネージド型のセキュリティおよびネットワークサービス、ネットワークアプリケーションパフォーマンス管理、プロフェッショナルサービス、インシデント対応サービスが含まれています。

「当社はベライゾンとの提携により多くのメリットを享受しています。ベライゾンは優れたテクノロジーとイノベーションを提供するだけでなく、同社の優れた人材とそのカルチャーにより、当社を1つ上の段階へと引き上げてくれます。JetBlueのDNAにはイノベーションが刻まれています。イノベティブなカルチャーをJetBlueに提供してくれたことに関して、当社はベライゾンを高く評価しています」。

Eash Sundaram,
エグゼクティブバイスプレジデント、最高デジタルおよび技術責任者、JetBlue Airways



セキュアで信頼できるスケーラブルな次世代ネットワークを構築

多国籍ソフトウェア企業であるSAPは、同社のグローバルなクラウドベースのビジネスの急激な成長に後れずについて行くために、高い性能を発揮する高可用性に対応したセキュアなネットワークを必要としていました。SAPは同社のネットワークインフラストラクチャを合理化し、従業員や顧客向けのアプリケーションの可用性を改善することを望んでいたため、ベライゾンとの提携を選びました。

グローバルなクラウドベースのSaaSビジネスを運営する場合、迅速なアプリケーション開発と配備はもちろん、ネットワークの安定性が不可欠となります。ベライゾンは、SAPによる、あらゆるビジネスローケーションでの効率的な管理とスケーリングを可能とする、信頼できる次世代ネットワークの構築を支援しました。この将来を見据えた新しいインフラストラクチャの導入により、SAPでは、ネットワーク管理の統合を通じてIT部門のオーバーヘッドを削減したほか、リソースを解放し、最終的に顧客エクスペリエンスの向上を実現しています。

「当社ではより多くのビジネスをクラウドへと移行しているため、当社の顧客が成功するか否かは、我々が顧客を当社のアプリケーションに接続できるかどうか、そしてそれらのアプリケーションが最高水準のパフォーマンスとセキュリティを提供することを当社が保証できるかどうかにかかっています」。

Thomas Sauerssig

最高情報責任者、グローバルクラウドインフラストラクチャ部門エグゼクティブバイスプレジデント、SAP



信頼できるパートナーとの協働により不動産業界を変革

Jones Lang LaSalle (以下JLL) は、不動産分野に特化したグローバルなプロフェッショナルサービスおよび投資管理企業です。

JLLは200年以上前に設立され、電気や電話の導入のような、多くの歴史的な大変革を目の当たりにしてきました。デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを採用することで、同社は、データを差別化要因として利用することにより、顧客向けのユニークなソリューションを作成することを望んでいました。

この不動産会社は、時代を先取りするために役立つパートナーを選ぶことを望んでいました。同社は10年以上ベライゾンと協働することで、新たな競争に直面しても俊敏性を維持し、分析と地理情報に関するインテリジェンスを利用できるようなネットワークを構築できるようになりました。

「ベライゾンは、当社のグローバルネットワークを1つにまとめる役割として機能してきました。当社が現在のような巨大なグローバルエンティティとして運営できているのは、ベライゾンのおかげです」。

Andrew Clowes氏

リージョナルディレクター兼CIO、オーストラリアおよびニュージーランド地域、JLL

貴社のデジタルトランスフォーメーションを成功させるには

デジタル対応するために実践すべき5つの重要事項



デジタルトランスフォーメーションとは配備するために一定の時間がかかるような単一タスクではなく、ビジネス要求を満たすための多くのステップに関与する持続的なプロセスであることを理解すること。また、デジタルトランスフォーメーションを、市場における変化に対して継続して適応するための現在進行中のプロセスとして受け入れること。



デジタルトランスフォーメーション戦略およびネットワーク戦略を指示すること。組織全体における対話を主導し、複数の異なるチームを団結させることで、ビジネス上の展望とIT上のビジョンを調和させること。



業務、顧客エクスペリエンス、ITインフラストラクチャ、ビジネスモデルに関する可視性を確保することにより、デジタルトランスフォーメーションを推進するために最適な立場に自分を置くこと。デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを高速化するために役立つ洞察を利用することで、迅速な結果が得られるほか、デジタルトランスフォーメーションプロジェクトに妥協がないことを保証できます。



孤立したサイロ内で仕事をしないこと。デジタルトランスフォーメーションプロジェクトを成功させるためには、デジタルトランスフォーメーションおよびネットワーク関連の意思決定者とのコラボレーションが不可欠です。



デジタルトランスフォーメーションプロジェクトの舵取りやセキュアなデジタル対応ネットワークの実装を支援するための確固としたビジョン、投資能力、専門知識を備えており、それらを実現するための製品およびサービスのポートフォリオを保有している信頼できるパートナーを見つけること。

デジタルトランスフォーメーション関連の優先事項を、ビジネス要件と調和させる

IDCの調査レポートおよび本ガイドでは、企業がデジタルトランスフォーメーションプロジェクトを高速化し、同プロジェクトがもたらす俊敏性や競争力の向上によるメリットを享受するためには、企業には緊急な対応が必要となることを見てきました。また、当社の顧客事例では、デジタルトランスフォーメーションを実施するためには、ネットワーク変革に対応できることが不可欠であることを紹介しました。

何らかのキャパシティに関連するデジタルトランスフォーメーション意思決定者またはネットワーク意思決定者である場合、次のことを即座に実施する必要があります。すなわち、現在の自社の能力とCSPとのパートナーシップを評価することです。

- そのパートナーは、変革を阻む障壁を克服するために、支援できますか？
- 現在のベンダーエコシステムを通じてデジタルトランスフォーメーション計画を実施できますか？
- IoTや機械学習のようなテクノロジーを取り込むことにより、顧客エクスペリエンスを強化できますか？
- インフラストラクチャでは、将来のビジネス要件に対処できますか？

上記のいずれかの質問に対する答えに「いいえ」がある場合、やるべきことがあります。デジタルトランスフォーメーションプロジェクトにおける1つ上の段階へと引き上げたいと決断した場合、デジタルトランスフォーメーション戦略とネットワーク変革戦略を調和させることが、貴社にとっての優先事項となります。

ビジネスが、ひとりで変わることは決してありません。

当社では、ネットワーク変革およびデジタルトランスフォーメーションを成功させるためにサポートする機会を提供しています。当社は、日常的に経験する変化を受け入れるためのノウハウを持っているため、デジタルトランスフォーメーション戦略をサポートする強力で俊敏なソフトウェア定義型ネットワークを構築できるようになります。

ベライゾンでは、企業が見据えたネットワークを構築できるようにするソリューション、パートナーシップ、専門知識を発展させるために数10億ドルを投資しています。当社のサービスの深さと幅広さは、今日の多くの組織が抱えている変革の目標をサポートしており、当社では、お客様が将来に起こる可能性のあるあらゆる事象に対応できるようにするために、将来を見据えたネットワークを設計することを目指しています。

デジタルトランスフォーメーションプロジェクトのどの段階に位置しているかにかかわらず、貴社を変革プロジェクトの次なる段階へと対応させるためにいかに役立つかについては、下記サイトをご覧ください。

enterprise.verizon.com/digital-transformation



敬具

Vickie Lonker ネットワークおよびセキュリティ製品管理部門バイスプレジデント、Verizon Enterprise Solutions ソリューション



注1～11、13: IDC White Paper, sponsored by Verizon, Digital Transformation: Discover the Right Path to Avoid Hype and Disappointment, September 2018

注12: <https://enterprise.verizon.com/ja-jp/solutions/achieving-business-objectives/sdn-adoption/>

© 2018 Verizon. All rights Reserved. Verizonの名称とロゴ、およびVerizonの製品やサービスを表すその他のすべての名称、ロゴ、スローガンは、米国および/またはその他の国におけるVerizon Trademark Services LLCまたはその関連会社の商標およびサービスマークであるか、または登録済みの商標およびサービスマークです。その他のすべての商標およびサービスマークは、それぞれの所有者の所有物です。